

平成 27 年度 分析・物質技術系活動報告

高田 昇治

工学系技術支援室 分析・物質技術系

1. はじめに

当技術系では、昨年度末に 1 名が退職し、その後補充として 4 月 1 日付で 1 名が新規採用された。しかしながら、9 月末日をもって 1 名が早期退職をしたため、今年度内に採用する予定で公募を行っているが、1 月 30 日現在では採用には至っていない。また、産休・育休で休んでいた 1 名が 9 月より復帰した。故に、9 月～現在の当技術系構成メンバーは、課長 1 名、課長補佐 1 名、第 1 技術班 6 名（兼任班長 1 名、班員 5 名）、第 2 技術班 5 名（兼任班長 1 名、班員 4 名）の総勢 11 名であった。

2. 分析・物質技術系の主な業務内容

当技術系の主な業務としては、工学研究科・工学部を中心に共通施設として設置されている各種分析機器の性能維持・管理・操作および試料の分析・観察・解析など主に機器分析等に関わる技術支援業務であり、加えて技術相談も受けている。

特に、今年度より取扱いを開始した装置として、機器分析室に設置された紫外可視分光光度計とフーリエ変換赤外分光光度計およびプラズマナノ工学研究センターに設置されたセミインレンズ式高分解能電界放出型走査電子顕微鏡とその前処理用設備（高密度大気圧プラズマ装置、試料低温切削装置、イオンミリング装置）等が挙げられる。今年度より共用の装置については、新たに予約システムを構築するなどの管理も行っている。また、平成 26 年度に設備・機器共用推進室が全学技術センターに設立され、今年度より名古屋大学設備・機器管理データベースシステム及び名古屋大学設備・機器共用システムの運用を開始している。当技術系においても、工学研究科の各専攻、工学研究科附属研究センター及び関連研究施設等からの従来の依頼業務に加えて、設備・機器共用推進室と連携をとりながら、共用システムへの設備・機器の登録の促進に現場レベルで寄与しており、今後も継続して実施していく考えである。今年度の業務依頼件数は長期・短期業務を含め 1 月末日現在で 68 件であった。これら以外の業務として、環境安全技術系の依頼に基づき作業環境測定や衛生巡視も支援した。

3. 技術専門委員会

分析・物質技術系専門委員会は、教員 3 名、技術職員 2 名で構成され、当技術系をサポートしている。本年度は、工学研究科機器分析室長石原一彰先生を中心に、本委員会の位置づけを確認し、早期退職者の後補充のための新規採用職員の公募・教育計画および当技術系の拠点となる居室の申請などを審議した。

4. 業務調整会議

系の運営業務を遂行する上で必要と判断した場合に業務調整会議を開催している。今年度は系会議後および必要に応じた日時で班長以上（2 名）のメンバーで開催している。年間運営方針（会計、研修など）、役割分担業務の連携などについて協議した。

5. 出張報告会

技術研究会・講習会等への参加のための出張は、当系のメンバーの説明力、理解力、表現力等の向上のための発表、技術力向上に繋がる知識、情報を収集する目的で実施し、その成果を報告会にて報告している。今年度の出張等とその報告会は、1月末まで以下の2件であった。

出張先	開催日 開催場所	報告会 開催日	報告者
平成27年度山形大学機器・分析 技術研究会(米沢市)	9月3日～5日 山形大学 米沢 キャンパス	10月9日	永田陽子 鳥居実恵 山本悠太 神野貴昭 林郁生
平成27年度静岡大学技術報告会 (浜松市)	12月22日 静岡大学 浜松 キャンパス	1月15日	伊藤広樹 高田昇治

6. 技術研修・研鑽

今年度の系研修は、「走査型電子顕微鏡装置を用いた観察における試料前処理方法の検討」という題目で、研修企画者の鳥居実恵、永田陽子をはじめ、日影達夫、他7名の合計10名で実施した。また個別研修では、林郁生、伊藤広樹および神野貴昭、都築賢太郎の2グループから申請があり、それぞれ実施して成果が得られた。

7. 技術系講習会

今年度の当系の講習会は、分析技術の向上を目的として日影達夫が以下の見学会を企画した。

開催日時：平成27年10月5日（月）13:35～15:35

開催場所：知の拠点あいち

講習題目：あいち産業科学技術総合センター 高度計測機器・シンクロトロン光センター
ビームラインの見学および説明

講師：シンクロトロン光センター 共同研究支援部 計測分析室長 西村美郎氏
産業利用コーディネータ 和田明生氏

参加者：分析・物質技術系技術職員 10名

8. 業務に関連した資格の取得

業務を遂行する上で必要となる資格および環境技術系からの支援要請に基づく資格を今年度は4名が取得した。（樋口公孝：玉掛技能講習とクレーン運転業務特別教育との併合講習、林郁生：局所排気装置等定期自主検査（インストラクターコース）、酸素欠乏危険作業主任者、都築賢太郎：局所排気装置等定期自主検査（インストラクターコース）、X線作業主任者、第一種作業環境測定士（特定化学物質）、第一種衛生管理者（2月取得予定）、神野貴昭：局所排気装置等定期自主検査（インストラクターコース））